

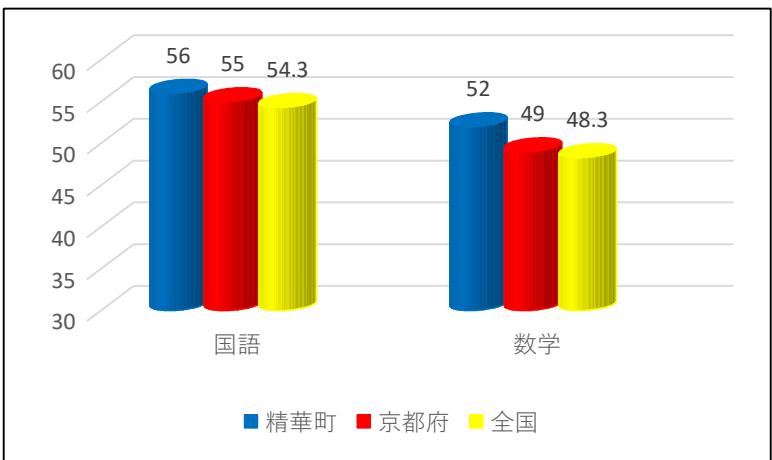
令和7年度全国学力・学習状況調査の結果(中学校)

全体正答率（国語・数学）の比較

	国語	数学
精華町	56	52
京都府	55	49
全国	54.3	48.3

国語は全国平均を1.7ポイント、府平均を1ポイント上回る結果でした。

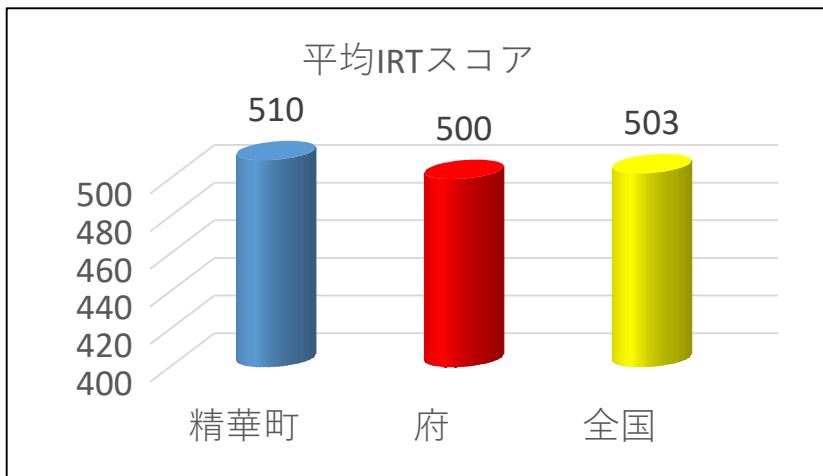
数学は全国平均を3.7ポイント、府平均を3ポイント上回る結果でした。



IRTスコア（理科）の比較

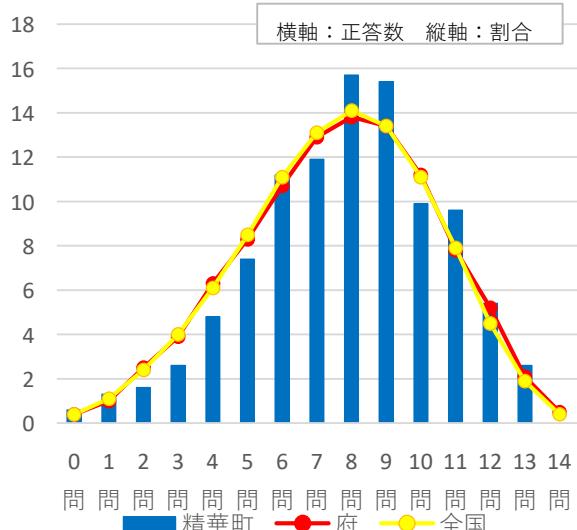
	平均IRTスコア
精華町	510
京都府	500
全国	503

理科は、全国平均スコアを7ポイント、府平均スコアを10ポイント上回る結果でした。※IRTスコアは500を基準にした得点で表されます。



国語・数学の正答数グラフ、学習内容別・問題形式の結果について

国語の正答数分布グラフ

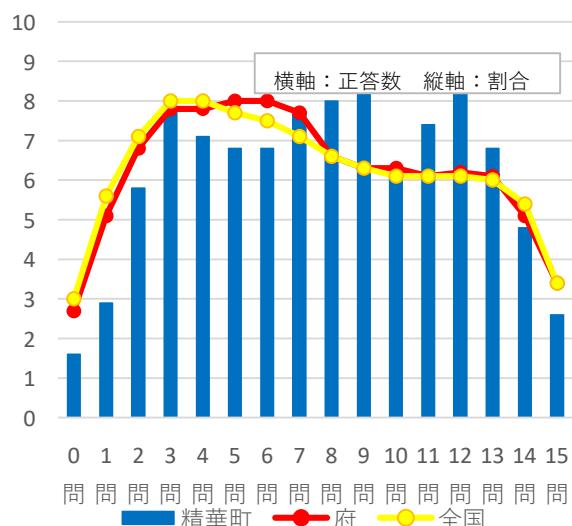


国語	話すこと	聞くこと	書くこと	読むこと
精華町	54.3	54.4	63.9	
京都府	53.2	53.3	63.3	
全国	53.2	52.8	62.3	

国語	選択式	短答式	記述式
精華町	65.1	74.5	29.1
京都府	63.9	71.5	27.5
全国	63.9	73.6	25.3

全ての領域、問題形式で府・全国平均を上回っており、全体的に基本的な学力が身に付いているといえます。特に記述式の問題で3ポイント以上全国平均を上回っており、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く力に優れています。

数学の正答数分布グラフ

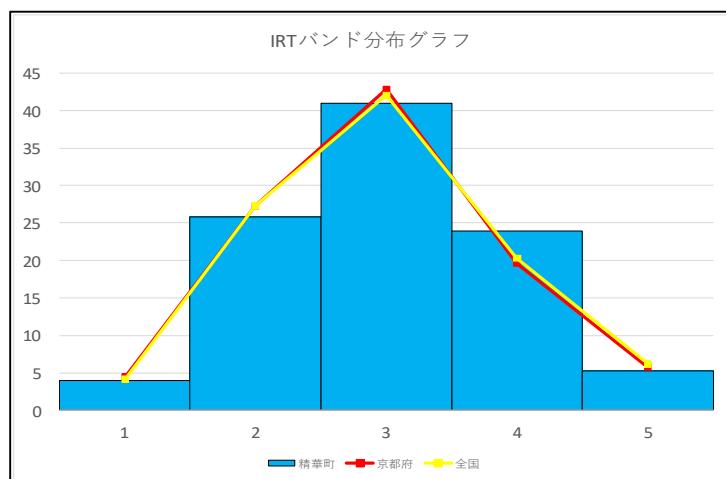


数学	数と式	図形	関数	データの活用
精華町	47.2	50.6	54.4	60.7
京都府	43.2	47.4	48.9	59.4
全国	43.5	46.5	48.2	58.6

数学	選択式	短答式	記述式
精華町	53.9	56.7	45.1
京都府	53	52.4	41
全国	54	52	39.6

ほぼ全ての領域、問題形式で府・全国平均を上回っており、全体的に高い水準で学力が身に付いているといえます。特に「関数」の領域と「記述式」の問題で府・全国平均を大きく上回っており、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力に優れています。

理科のIRTバンド分布グラフ



IRTバンドの5または4に属する生徒の割合を比較すると、精華町は29.2%、京都府平均は25.4%、全国平均は26.5%となっています。また、1または2に属する生徒の割合は、精華町は29.8%、京都府平均は31.8%、全国平均は31.5%となっています。このことから、精華町は府・全国平均と比較して上位層が多く、低位層が少ないということができます。

IRTバンド分布比較

